

第2回磐田の未来を語る会 懇談記録

日時：令和3年11月14日（日）

午前10時～11時30分

場所：ワークピア磐田第3会議室

1. 市長あいさつ

- ・市長に就任してからももちろん、市議会議員を務めた8年間も、市民の皆さんとの対話を大事にしてきました。現場の声や課題に向き合っている方々の声をうかがって、いかに行政を変えていくかを常に意識しています。
- ・自己紹介ですが、昭和56年生まれで、今年で40歳になったところです。生まれも育ちも、磐田です。
- ・15歳のときに、磐田から外に出たことが一つの転機で、外に出て初めて気づいたことがたくさんありました。外に出たことで磐田市をもっと良くしていき、誇りに思いたいと強く感じました。
- ・子どもや孫たちの代でも豊かな暮らしができ、持続可能な磐田市にしていきたいと思っていますので、親世代である自分たち自身が今を頑張って、これからの未来の子どもたちに対して、いい磐田市をバトンタッチしていきたいと思います。
- ・私のテーマは「安心できるまち、人の集まる磐田市へ」です。「安心できるまち」とは、今、課題を抱えていたり、将来に不安を持っていたりすることを少しでも減らしていくということで、「人の集まるまち」は、わくわくするまちにして、多様性がある、様々な人たちが活躍できるような「まち」にしていきたいということです。
- ・今日は様々な世代や色々な背景を持っている方々に集まっていただきました。世代によってこんな考え方もあるということも楽しみに聞かせていただきたいと思います。

2. 参加者の質問・意見

【70代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none">・団塊世代が後期高齢者となり超高齢者化社会が続きます。働く意欲のある高齢者のために早目の対策が必要だと思います。例えば、50代前半を対象とした10年、20年先の人生の過ごし方を学ぶ人生講座の開設や大学と協働で長期期間の休みや夜間などを利用して実践教育を行ったらと思います。・シニア人材バンクを設け、そこに教員や保育士、看護師、介護士、管理栄養士、技術者などあらゆる有資格者を登録すると同時に、資格がなくてもあるものに特化しているシニア層の人材も登録できるようにしたらよいと思います。そして、これらの登録者を必要とする市内の小・中学校、企業、団体、交流センターなどへ情報発信することが大事だと思います。	<ul style="list-style-type: none">・団塊の世代の人数が1番多く、この世代中心に社会が築かれてきました。団塊の世代は磐田市では1学年で約3,000人、私たちの40歳の世代は約2,300人で、昨年、磐田市で産まれた子たちが約1,100人、約3倍の開きがあります。・地域のシニア世代の方々の活躍の場をつくっていくことはとても大切です。例えば、学校や幼稚園・保育園に地域のシニア世代の方に多く関わっていただきたいと思っています・シニア人材バンクなどを整備し、学校や幼稚園・保育園をサポートしていく仕組みを作っていくということは、磐田市だけではなく、これからの日本の大きなテーマだと感じています。

【50代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の子どもが天平のまちにある「磐田市学習交流センター」を利用していますが、座席の増設や午後 8 時以降の開館を検討して欲しいです。 ・ i プラザは冷暖房がついていて、午後 10 時まで開いていますが、机といすの数が少ないのもっと学習できるように席の増設や施設の有効活用方法を検討して欲しいです。 ・ 図書館は本を借りに行くだけではなくて、ゆっくり過ごすことができ、大人も子どもも教養を高めることができる憩いの場であって欲しいです。 ・ ゴミ袋に名前を書かなくてはいけないことは、問題があると思います。私の地域ではゴミ袋が収集されなかった時には、各戸に届けることになっていますが、中身を見ないと届けることができないのでお互いに嫌だと思っています。市でしっかりと周知していただくと共に、ゴミの出し方の変更、場合によってはゴミの戸別収集を考えて欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ i プラザのロビー、天平のまちの学習交流センター、ワークピア磐田など市で持っている資産をもっと活用できる方法を考えていきます。 ・ 文化展示が、中央図書館に集中している状況にあります。市民文化会館跡地の利用を考える際には、学ぶ場所や文化振興の場を念頭に考えていきます。 ・ ゴミは誰にでも関わることで、無料で処理をしていますが、焼却や最終処分にはコストがかかります。SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて取り組む中で、できるだけ分別、再資源化するため、磐田市は厳しいルールでゴミの収集を行ってきました。多くの方がルールを守っていただいています、ルールを守れない方への対応方法は今後も研究を続けていきます。

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の育ちの大切さを伝えたいです。 ・ 小学校の現状ですが、できる子とできない子の差が激しく学力の二極化が起きていると思います。そして、この問題の根底は、語彙力の不足にあると考えています。 ・ 教育改革によって、今まで一斉教育だったのが、これからは自分で課題を見つけて、それを自分で調べてプレゼンをするという授業が非常に多くなりました。非常に面白い授業だと思えますが、語彙力がない子、意欲がない子、好奇心がない子は、授業に参加はしていますが、意欲的な子と、意欲のない子でどんどん差が広がってしまっている印象です。 ・ 幼稚園と保育園同士の「連携」、小学校と幼稚園の「連携」が大切で、お互いにやっていることを共有し、実践的な教育をしていただくとともに、地域の人にもっと入ってもらって、もっと積極的な体験を子どもたちにしてもらいたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの年代が幼稚園・保育園に通っていた時代と比べて、幼稚園・保育園の環境は大きく変わっています。 ・ 平成 26 年頃から、待機児童の課題が出てきて、保育園に入りたくても入れない、働きたくても働けない親御さんのため、幼稚園・保育園の幅を広げました。これにより、学校や園によっても、差が出てきたように感じます。 ・ 子どもたちにとって本当にいい環境ということはどういう環境かということ、真剣に考えていかなくてはいけないと思っています。 ・ これからの日本、そして地域を支えていくのは、子どもたち、若者たちです。しっかりと成長できる教育環境を考えていきます。

【30代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の外国人と仲よくなりたい」ということ伝えたいです。 ・大学時代に一度磐田を離れ、磐田市に戻ってきた時に、磐田市にはたくさんの外国人がいて、特にブラジル人や日系の方が多いいことを改めて感じました。 ・アルバイト先で仲良くなった外国人と一日一緒に過ごしてみるととても楽しかったです。 ・ブラジル人は日本語を学ぶことができるのに、日本人がポルトガル語を気軽に学ぶことができる場所がないと思います。 ・外国人が多く集まる地域ですので、困りごとに対して何かをするだけではなくて、外国人を活かす取組をして欲しいと思います。 ・公務員でも、地域活動で報酬をいただくことに対して柔軟に対応して欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の外国人と仲よくしたい」という思いは、同感です。 ・日本人のためのポルトガル語講座はいいご提案だと思います。 ・公務員は副業的に報酬をもらうことは出来ない仕組みになっています。例えば、余暇の時間が出来たときに、働くというよりも、子どもたちの教育に携わるなど、支える側の活動をやりたくても出来ない環境があるということを変えていきたいと考えています。

【30代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・市長は「子育てに力入れます」ということ言っていましたので「子育てへの取組み」についていろいろと聞きたいです。 ・行政ができることとして、ルールづくり、お金、場所をつくる、具体的にこの3つをどうするのかということをお教えしてほしいです。 ・子育て支援をするに当たって、今後、市長が何を「ベンチマーク（指標・基準）」としているのか、何に比重をおいて、「子育て支援」を進めていくのかを伺いたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチマークにしているのは「出生数」です。「出生率」ではなくて、「出生数」を意識しています。 ・いい教育環境、いい子育て環境を整えていけば、磐田に引っ越してくる方々が増え、そして、増えた方々が安心して子育てできる環境ということであれば、子どもは増えていくのではないかと考えています。 ・今後5年間の年間出生数の目標を1,212人としていきたいと考えています。この数字は、現在策定している「第2次磐田市総合計画後期基本計画」に盛り込みたいと考えていて、これから年度末にかけて、審議会や議員の皆さんにご理解いただきながら決定したいと考えています。 ・外国人や不登校、発達障がいや引きこもってしまっているなど課題を抱えている子どもたちへのフォローについては、ベンチマークはなかなかつくりにくいですが、力を入れていきたいと思っています。

【30代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・「共働夫婦が安心して働ける社会」、「女性が安心して働ける環境、まちづくり」について、懇談したいと思います。 ・放課後児童クラブの決まり事で、13時から18時の間で、3時間働いていない場合は、学童での子どもの受け入れができないと説明を受けました。 ・夜勤の早番で15時30分頃出社する場合は、3時間に満たないので学童へ預けることができない現状がありますので、もう少し緩和して欲しいです。 ・小学生の子を持つ親に限らず、幼稚園や保育園、未満児の子を持つ家庭に対しても、子育てに縛られずに、安心して働ける環境づくりをしていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童のルールで、夜勤の早番の日には預けることができないという現状は分かりましたので、どんな対応ができるか考えていきたいと思っています。 ・「安心して働けるように」ということと、お母さん、お父さんが時間をつくってでも子どもたちに向き合う時間ということも、教育や子育ての中ですごく大事だと思います。 ・「働く」ということと、「子育て」のバランスをきちんと整えられるような環境をつくっていききたいと思います。

【20代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・妻が中学校の教員で育児休業を取っていますが、子育て世代には部活動の指導がとても大変です。 ・磐田市は、スポーツに力を入れているので、スポーツをしたい人と部活指導をしたい人をうまく結びつけることができないかと思っています。 ・教員の繁忙期や休みを取りたい時には登録した人が部活を指導できる形になっていれば、より先生の働き方も変わってくると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革」と言われている中で、先生達の多忙感は相当あるということは、行政のトップとしても感じているところです。部活動に地域人材を活用して、学校の先生たちの負担を減らしていくことは教育委員会も検討しているところです。 ・体験学習など子どもたちにとってよりよい指導をしていただけるよう、先生の研究時間を作ることができる環境を整えていくことが大事だと思います。

【10代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公園は、未就学児対象の遊具が多く、中学生でも楽しめる公園が欲しいです。アスレチックのような遊具があれば、親子で体を動かして遊ぶことができ、地域振興にもつながると思います。 ・障がいのある小さな子と関わるイベントがあるといいと思います。 ・夏の制服着用のルールを変更して欲しいです。 ・小学生のランドセルが重いので、自宅に持ち帰らなくてもよいものの指導を徹底して欲しいです。 ・夏の生理の問題でプールの授業を受けることができなくて成績が心配です。女子は別の日にプールの授業を行うなどの対策をして欲しいです。 ・歩行者用信号機が欲しい場所があります。 ・学校での津波避難訓練を多くやって欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者目線、中学生の目線というのはとても大事です。いいご提案をたくさんいただきありがとうございます。学校と相談していききたいと思います。 ・生徒の皆さんたちが提案して、学校のルールを自分たちの力で決めていくことができる仕組みが大切だと思います。

【10代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・市で行われている「高校生まちづくり研究所」に参加しています。「人が集まるまちづくりとは何か」ということをクラスの皆と考えていて、今後、プレゼンテーションを行います。 ・「情報発信」がキーだと思います。いい情報発信があれば人を呼び込むことができると考えています。高校生の視点で情報発信は何ができるかを考えて提案していきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生や中学生からの情報発信が大切で、お互いに発信し合うことが大事だと考えています。 ・今は、LINE やホットとライン、様々な SNS がありますが、皆さんがどのような媒体やチャンネルを見ているかしっかり分析できていない状況がありますので「私たちはこんなものから情報収集しています」などといった提案もあるとありがたいです。

【10代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・磐田市には科学館や美術館など中学生・高校生が学ぶことができる場所が少ないと感じています。また、学ぶことができる場所やイベントの情報発信をもっとして欲しいです。 ・埋蔵文化財センターは土日祝日も開館してくれれば、うれしいです。小学生の時にふるさと歴史たんけん隊に参加し本当に面白かったので、中学生・高校生版もやってほしいです。 ・災害時に被害状況を LINE で把握し、AI が「場所や、状況、怪我人」などを聞いてくれるシステムが開発されたと聞きました。そういうシステムがあるとよいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の視点からの課題提起やこんな風にして欲しいという目線はとてもいいです。実現できるように頑張ります。 ・磐田市の「古墳」などの埋蔵文化財は、とてもいい素材で強みだと思いますので、学べる場については考えていきたいと思います。 ・デジタル化の大きな流れの中で、災害時の情報収集についても提案いただきましたので、今後も研究していきたいと思います。

(全員の発言が終了したので、時間が許す限り、意見交換)

【70代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の課の名称ですが「高齢者支援課」とありますが、少し硬い名前だと感じます。例えば「高齢者ふれあい課」、「元気はつらつ課」、「シニアいきいき課」などが市民に親しみやすい課名だと思います。 ・豊田支所の建物を使った防災備蓄ステーションは、どんな施設か教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課の名称をどうするかということももちろんですが、磐田市にはどんな組織がいいのかということを考えて組織編成していきます。 ・防災備蓄ステーションは倉庫なので、平時には何も入っていません。災害時には支援物資がどんどん入ってきます。トラックを横付けできたり、フォークリフトが動いたりすることができる広い場所が必要のため整備しました。 ・静岡県西部の支援物資は、最初はエコパに入り、そこから、防災備蓄ステーションに入ってきて、ここから磐田の各地に振り分けることになります。

【30代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことや小さなチャレンジを思いついた時に、どのような方法で市役所へ伝えたらいいですか。また、相談できる場所はどこですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内では市民相談センターに相談したり、メールを市の代表に送ったりすることもいいです。また、市役所本庁舎 1 階のポストにご意見を入れていただきくこともできます。 ・市民の声を聞くしかりとした仕組みを整えていきたいと思いますが、市のホームページのお問い合わせフォームを通じてご意見をいただければ、必ず拝見します。

【30代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・YouTube に磐田市公式チャンネルはありますか。 ・先ほど市長がおっしゃったベンチマークとしての「出生数 1,200 人」を議会などだけではなく YouTube など発信してコミットメント（=責任を持つ、約束する）することもいいのではと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私が市長に就任してから数回、YouTube で市政について発信するようにしていますが、まだまだだと思っていますので、頑張っていきたいと思っています。

【10代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生にしか出来ないこともたくさんあると思うので、もう少し高校生が地域に関われることができればいいと思います。 	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

【10代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生は、将来を決める上でとても大切な時間だと思いますので、その時期にいい影響を与えてくれるものがたくさんあったらいいなと思います ・いじめに対する対策なども懇談したかったです。 	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいの話がでしたが、袋井市の「はぐくみ（子ども早期療育支援センター）」みたいな施設が磐田でもできればいいなと思いました。 	<p>ご意見ありがとうございました。</p>